

2022(令和4)年度授業アンケート報告書

研究教育開発センター

I 授業アンケートについて

1 授業アンケートの目的

- (1) 学生が各授業をどのように見ているかという観点からの情報収集と教員個々の気づきを目的とし、それらを各授業の質の向上につなげること。
- (2) 学生の授業参加への意識を高めること。
- (3) 講義室の施設・設備の改善等。

2 授業アンケートの実施概要

(1) 授業アンケートの対象科目

2022(令和4)年度に開講している全授業科目(演習及び実習を除く)を対象に実施。

(2) 授業アンケートの実施時期

①前期: 2022(令和4)年7月11日(月)~8月12日(金)

②後期: 2023(令和5)年1月16日(月)~2月11日(土)

(3) 授業アンケートの実施方法

パソコン・スマートフォン等によるLCUでの回答。

(4) アンケート回答状況

①前期

回答率: 51.8%(回答数11,943/対象数23,052)

②後期

回答率: 48.9%(回答数10,418/対象数21,299)

(5) 授業アンケートの質問項目

授業内容に関する質問は以下の7項目となっている。

- ①授業全体の目標は明確でしたか。【目標の明確さ】
- ②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか。【教員の意欲】
- ③この授業では、教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。【準備の周到さ】
- ④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか。【明瞭な話し方】
- ⑤この授業は、学習しやすい環境が保たれていましたか。【環境の整備】
- ⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか。【学習意欲の喚起】
- ⑦この授業を受講して満足しましたか。【総合満足度】

Ⅱ 授業アンケート結果の分析・総括について

1 前期授業アンケートの選択式（5段階評価）結果及び分析

※授業内容に関する大学・学部・学科の具体的な集計値はP 5に掲載。

（1）全体的傾向（大学全体の平均値）

- ①2022（令和4）年度前期の授業は、新型コロナウイルス感染予防に最大限注意を払いながら、原則として面接授業（対面での授業）を実施した。全体的な学生の評価は対面授業とオンライン授業を実施した2021（令和3）年度前期に比べ、大きな変化はない。
- ②大学全体では、授業を総合的に評価する⑦【総合満足度】の平均は4.46であり、概ね学生は授業に満足しているといえる。2021（令和3）年度前期の⑦【総合満足度】平均4.47と比較しても横ばいとなっており、満足度に大きな変化はない。その他の質問の回答の平均も4.34以上であることから、総じて学生が授業を高く評価していることがうかがえる。
- ③教員の意欲や準備について問う②【教員の意欲】や③【準備の周到さ】の平均は4.64以上で、他の質問に比べ高い評価を得ている。特に、③【準備の周到さ】の平均は4.67となっており、最も高い評価となっている。
- ④学びに対する意欲をかきたてられたかを問う⑥【学習意欲の喚起】の平均が4.34で、最も低い評価となっており、これは2021（令和3）年度前期と同様の傾向となっている。しかし、最も低いといっても4.34であり、学生は学びに対する意欲を感じているといえる。

（2）学部・学科別傾向

①経済学部（経済学科・経営学科）

- ア 両学科とも、全ての質問において平均が4.21以上となっており、概ね良好な評価となっている。とはいえ、全ての質問において学生の評価は、大学全体の平均と比較すると下回っている。
- イ ⑦【総合満足度】は両学科とも4.33以上であり、学生は授業に対しておおむね満足しているといえる。ただし、大学全体の平均よりも低い評価となっている。
- ウ 経済学科は質問⑥【学習意欲の喚起】を除き、全学科で最も低い評価となっている。
- エ 2021（令和3）年度前期と比べると、経済学科は全ての質問において、平均が上昇している。経営学科については、①【目標の明確さ】、④【明瞭な話し方】、⑤【環境の整備】の3項目の平均が上昇している。

②福祉社会学部（社会福祉学科・児童学科）

- ア 両学科とも、全ての質問において平均が 4.41 以上であり、非常に良好な評価となっている。全ての質問において大学全体の平均を上回り、学生の評価は相対的に高くなっている。
- イ ⑦【総合満足度】は、両学科とも 4.51 以上であり、学生は授業に対して非常に満足しているといえる。特に児童学科の 4.63 は全学科で最も高い評価となっている。この評価は 2021（令和 3）年度と同様の結果となっている。
- ウ 社会福祉学科は、③【準備の周到さ】の評価が最も高く、以下②【教員の意欲】、⑤【環境の整備】となっている。これは、2021（令和 3）年度と同様の傾向となっている。
- エ 2022（令和 3）年度前期と比べて、児童学科の平均は全て上昇している。特に⑥【学習意欲の喚起】が 0.09 ポイント上昇している。
- オ 児童学科は質問③【準備の周到さ】を除き、全学科で最も高い評価となっている。

③国際文化学部（国際文化学科・音楽学科）

- ア 両学科とも、全ての質問において平均が 4.20 以上であり、概ね良好な評価となっている。
- イ ⑦【総合満足度】は、両学科とも 4.39 以上であり、学生は授業に対して概ね満足しているといえる。
- ウ 両学科とも、⑥【学習意欲の喚起】が最も低い評価となっており、特に音楽学科は 2021（令和 3）年度前期に比べ、0.14 ポイント低下している。
- エ 2021（令和 3）年度前期と比べると、国際文化学科は全ての質問において、評価が低下している。音楽学科については、①【目標の明確さ】、⑥【学習意欲の喚起】及び⑦【総合満足度】の 3 項目の評価が低下している

授業内容に関する大学・学部・学科別の平均値

アンケート質問Ⅲの質問①～⑦について、5段階評価の平均値を大学全体・学科別に表にまとめた。ここでは、前期と後期を比較しているが、それぞれにおいて全く同じ科目が開講されているわけではないことに留意されたい。

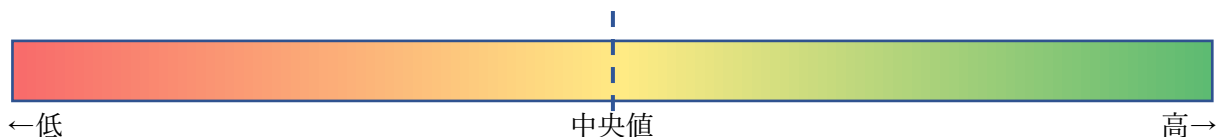
5段階評価の内容は、次のとおりである。

5：そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：どちらとも言えない
2：どちらかと言えばそう思わない 1：そうは思わない

質問①～⑦は、次のように略記する。

①【目標の明確さ】 ②【教員の意欲】 ③【準備の周到さ】 ④【明瞭な話し方】
⑤【環境の整備】 ⑥【学習意欲の喚起】 ⑦【総合満足度】

表は、評価傾向を把握しやすいよう、次のカラースケールを用いて着色した。



着色の範囲は、①大学全体、②全学科の2領域としている。

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか							
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか							
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか							
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか	①				②		
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか							
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか							
⑦この授業を受講して満足しましたか							

2022（令和4）年度前期授業アンケートの5段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.51	4.38	4.49	4.54	4.65	4.44	4.42
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.64	4.52	4.56	4.70	4.76	4.64	4.74
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.67	4.55	4.62	4.71	4.75	4.68	4.79
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思われましたか	4.50	4.37	4.44	4.59	4.60	4.49	4.51
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.57	4.44	4.50	4.63	4.70	4.52	4.61
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.34	4.21	4.21	4.41	4.53	4.30	4.20
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.46	4.33	4.37	4.51	4.63	4.44	4.39

2021（令和3）年度前期授業アンケートの5段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.52	4.34	4.43	4.58	4.62	4.54	4.52
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.62	4.40	4.57	4.69	4.70	4.69	4.59
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.67	4.49	4.65	4.72	4.74	4.73	4.69
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思われましたか	4.46	4.24	4.37	4.54	4.55	4.54	4.50
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.55	4.34	4.47	4.62	4.63	4.61	4.57
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.35	4.15	4.25	4.44	4.44	4.39	4.34
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.47	4.26	4.40	4.55	4.56	4.52	4.42

2 後期授業アンケートの選択式（5段階評価）結果及び分析

※授業内容に関する大学・学部・学科の具体的な集計値はP 9に掲載。

（1）全体的傾向（大学全体の平均値）

- ①2022（令和4）年度後期の授業は、新型コロナウイルス感染予防に最大限注意を払いながら、原則として面接授業（対面での授業）を実施した。ただし、1月14日（土）・15日（日）の大学入学共通テスト前の1月5日（木）～12日（木）については、予め計画的にオンライン授業を実施した。全体的な学生の評価は2021（令和3）年度後期に比べ、大きな変化はない。
- ②大学全体では、授業を総合的に評価する⑦【総合満足度】の平均は4.46であり、学生は授業に概ね満足しているといえる。2021（令和3）年度後期と比べて、全ての項目で評価が低下しているが、最も低い評価でも4.36以上であることから、総じて学生が授業を高く評価していることがうかがえる。
- ③教員の準備について問う③【準備の周到さ】は、平均4.63で全ての項目の中で最も高い評価となっている。2021（令和3）年度後期も同様の結果となっている。

（2）学部・学科別傾向

①経済学部（経済学科・経営学科）

- ア 両学科とも、全ての質問において平均が4.21以上であり、概ね良好な評価を得ている。とはいえ、他学部と比べると全体的に低い評価となっている。
- イ 経済学科は、全ての質問において大学全体の平均よりも低い評価となっており、また2021（令和3）年度後期と比べても全ての質問で低い評価となっている。
- ウ 経営学科は、2021（令和3）年度後期と比べて、評価は横ばいか上昇している。特に④【明瞭な話し方】は0.11ポイント上昇している。

②福祉社会学部（社会福祉学科・児童学科）

- ア 両学科とも、すべての質問において平均が 4.29 以上であり、2021（令和 3）年度後期と同様に、良好な評価を得ている。
- イ 大学全体との比較では、児童学科は全ての質問において平均を上回っている。一方で社会福祉学科は全ての質問で大学全体の平均を下回っている。
- ウ 授業を総合的に評価する⑦【総合満足度】は、両学科とも 4.40 以上であり、2021（令和 3）年度後期と同様に学生は授業に対して満足しているといえる。特に児童学科の 4.59 は、全体で最も高い評価となっている。
- エ 2021（令和 3）年度後期と比べて、社会福祉学科は全ての質問で評価が低くなっている。

③国際文化学部（国際文化学科・音楽学科）

- ア 両学科とも、全ての質問において平均が 4.29 以上であり、概ね良好な評価を得ている。
- イ 授業を総合的に評価する⑦【総合満足度】は、両学科とも 4.46 以上であり、学生は授業に対して満足しているといえる。
- ウ 国際文化学科は①【目標の明確さ】を除き、大学全体の平均を上回っている。
- エ 音楽学科の②【教員の意欲】、③【準備の周到さ】は全学科で最も高い評価となっている。一方で、⑥【学習意欲の喚起】は大学平均よりも 0.07 ポイント低い評価となっている。

授業内容に関する大学・学部・学科別の平均値

アンケート質問Ⅲの質問①～⑦について、5段階評価の平均値を大学全体・学科別に表にまとめた。ここでは、前期と後期を比較しているが、それぞれにおいて全く同じ科目が開講されているわけではないことに留意されたい。

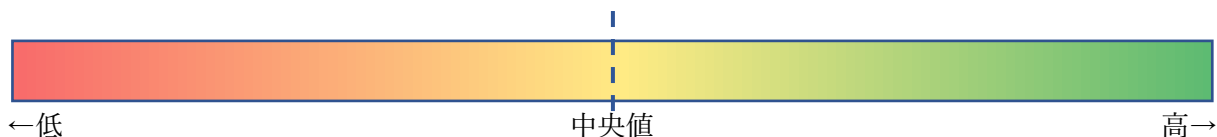
5段階評価の内容は、次のとおりである。

5：そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：どちらとも言えない
2：どちらかといえばそう思わない 1：そうは思わない

質問①～⑦は、次のように略記する。

①【目標の明確さ】 ②【教員の意欲】 ③【準備の周到さ】 ④【明瞭な話し方】
⑤【環境の整備】 ⑥【学習意欲の喚起】 ⑦【総合満足度】

表は、評価傾向を把握しやすいよう、次のカラースケールを用いて着色した。



着色の範囲は、①大学全体、②全学科の2領域としている。

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか							
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか							
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか							
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか	①				②		
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか							
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか							
⑦この授業を受講して満足しましたか							

2022（令和4）年度後期授業アンケートの5段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.53	4.40	4.54	4.49	4.63	4.52	4.52
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.62	4.49	4.60	4.61	4.70	4.67	4.71
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.63	4.50	4.64	4.58	4.72	4.69	4.76
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたが	4.50	4.35	4.55	4.43	4.57	4.53	4.44
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.56	4.41	4.57	4.53	4.65	4.59	4.57
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.36	4.21	4.38	4.29	4.51	4.37	4.29
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.46	4.33	4.45	4.40	4.59	4.49	4.46

2021（令和3）年度後期授業アンケートの5段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.60	4.51	4.55	4.54	4.68	4.52	4.57
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.68	4.67	4.62	4.66	4.71	4.66	4.69
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.70	4.64	4.61	4.65	4.76	4.74	4.60
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたが	4.53	4.55	4.44	4.54	4.54	4.51	4.60
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.63	4.56	4.47	4.58	4.72	4.60	4.60
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.43	4.38	4.29	4.32	4.51	4.45	4.57
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.57	4.54	4.41	4.51	4.64	4.55	4.60

3 前期・後期授業アンケートにおける自由記述の結果及び総括

(1) 「良い点」(全体的傾向)

①授業準備・開始段階での配慮

事前の授業準備(予習課題等)の具体的な指示/アイスブレイクなどの雰囲気づくり
将来(就職)を見据えた授業の意義説明/授業の始まりに行う簡潔な復習

②教材等に関する配慮

見やすく分かりやすい資料/書き込み式で分かりやすいプリント/豊富な資料/分かりやすいパワーポイント資料/興味深い動画の活用/ノートに記録する時間の確保

③授業内容・形態に関する配慮

イメージが湧きやすい身近な話題の提供/グループワークによるディスカッション/プレゼンテーションの機会/外部講師による講義/講義終盤に課す確認問題/実践的な模擬授業/グループワークでのコミュニケーション力の育成や積極的な授業参加

④学生との接し方、話し方に関する配慮

質問しやすい環境づくり/意見・質問へのコメント返却/スマートフォン使用への適切な対処/親しみやすい口調/個別の丁寧な指導

⑤その他

役に立つレポートの書き方指導/毎回の課題や小テスト/細かな成績評価

(2) 「改善を要する点」

①授業計画の不明瞭さ、授業準備の不足

シラバスからの逸脱/資料のない授業/1回分の授業には詰め込みすぎの内容/出所不明のデータ(資料)の使用/適切な指示のない事前学習/目的が不明確な授業

②話の聞き取りづらさ

速すぎる話すスピード/小さい話し声/悪い滑舌/マイクの不使用

③板書、スライド等の見づらさ

小さい、汚い板書の文字/文字の小さい配資料/パワーポイント資料の未配付/画面切り替えが早いパワーポイントでの説明/読みにくいパワーポイントの文字

④授業内容の分かりづらさ

分かりにくい説明/学生の理解を確認せずに進行する授業/学生のレベルに合わせていない授業/板書をノートに記録させるだけの授業

⑤学生への対応について

私語に対する注意/出席確認の厳格化の要望/広い教室での学生の座らせ方(前方から詰めて)/日本語での授業を理解できていない留学生への対応

⑥教員の態度について

授業の遅刻/感情的な発言/授業と関係ない話の多さ/性別や人によって異なる対応

⑦その他

しっかりとした出欠確認/グループワークに参加できない留学生の対応/多すぎる課題/時間に終わらない授業の対応

(3) 自由記述の総括

2022（令和4）年度授業アンケートの自由記述において「この授業で良いと思った点」の代表的な意見は以下のとおりだった。

- ①説明が分かりやすく、内容が理解しやすかった。
- ②先生が用意してくれる資料が分かりやすかった。
- ③プリントでまとめられているので復習しやすかった。
- ④聞きやすい声で分かりやすかった。

同じくアンケートの自由記述において「この授業で改善してほしいと思った点」の代表的な意見は以下のとおりだった。

- ①授業内容や目標、伝えたいことが分かりにくい部分があった。
- ②内容が難しく、説明が分かりにくいことがあった。
- ③プロジェクターの文字の大きさを改善してほしい。
- ④しっかりマイクを使って授業を進めてほしい。
- ⑤資料の文字が見えにくいところがあった。

コロナ禍で対面とオンライン授業を実施した2020（令和2）年度及び2021（令和3）年度の授業アンケートで代表的な意見であった「オンライン授業よりも対面での授業形式にしてほしい」という意見は、2022（令和4）年度は、ほぼ対面での授業で実施されたこともあり、当然であるが挙がってきていない。やはり、本学の学生は「オンラインよりも対面での授業」を望んでいることがうかがえる。一方で、コロナ禍は終息しつつあり、コロナによるオンライン授業の実施という可能性は低くなっているが、今後コロナのような対面での授業実施が難しいケースが発生した場合の対応としての教員のLCU、Zoom、Moodleといった授業方法のスキルの維持や向上は求められ続けるということは忘れてはならない。

今回の意見で特に留意すべきは、「①授業内容や目標、伝えたいことが分かりにくい部分があった」であろう。学生の知識や教養の習得のためにも、大学教員の授業の内容や方法を改善し、向上させるための取り組みがより一層求められていると痛感せざるを得ない。また、令和5年度より見直しを行った学期末授業アンケートでは、学生は授業の到達目標の達成度を自己評価することになった。学生の自己評価を参考にしながら、学生自身が目標を達成したと自覚できるような授業改善を絶えず行っていくことが求められる。

さらに、2022(令和4)年度にスタートした「学生FDパートナー」の取り組みから、6名のFDパートナー全てが授業科目を決める際に必ずシラバスに目を通してしていると回答があった。シラバスは授業内容や目標を把握する最初の特徴である。シラバスと実際の授業内容に乖離が生じないように、①しっかりと授業計画に基づきシラバスを作成すること、また②様々な事情によりシラバスどおりに授業を進めていくことができないケースが発生した場合には、学生に対しシラバスとの齟齬と今後の予定を丁寧に説明する必要があると考えられる。

以 上